

注3

大学番号：私266

[平成28年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

届出

第一薬科大学 薬学部 漢方薬学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人都築学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムチョウ 事務長 ウエノマサツグ 上野雅継

電話番号 092-541-0161

（夜間） 092-541-0161

F A X 092-553-5698

e-mail jimutyo@daiichi-cps.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人都築学園

(2) 大 学 名

第一薬科大学

(3) 大学の位置

〒815-8511

福岡県福岡市南区玉川町22番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツヅキ キミコ) 都築 仁子 (平成19年11月)		
学 長	(ツヅキ キミコ) 都築 仁子 (平成19年11月)		
副 学 長	(サクラダ ツカサ) 櫻田 司 (平成27年3月)		
学 部 長	(アラマキ ヒロノリ) 荒牧 弘範 (平成27年3月)		
薬学科長	(イリクラ ツトム) 入倉 充 (平成28年3月)		
漢方薬学科長	(イケヤ ユキノブ) 池谷 幸信 (平成28年3月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5)-① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
薬学部 漢方薬学科 学士(薬学)	薬学	6年	60人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5)-② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 () []	—人 () []	60人 () []	—人 () []	0.71倍	
志願者数	95 () []	— () []	119 () []	— () []		
受験者数	93 () []	— () []	119 () []	— () []		
合格者数	78 () []	— () []	117 () []	— () []		
B 入学者数	37 () []	— () []	49 () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	0.61		0.81			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	37 [-] (-)	[-] (-)	53 [-] (4)	[-] (-)	
2年次	/		31 [-] (-)	[-] (-)	
3年次			/		
4年次					
計	37 [-] (0)		84 [-] (4)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	37 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	その他(2人)	5.40 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	49 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	86 人	2 人					2.32 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<薬学部 漢方薬学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 選 択	文学Ⅰ	1 前		1							兼 1
	文学Ⅱ	1 後		1							兼 1
	福祉学Ⅰ	1 前		1							兼 1
	福祉学Ⅱ	1 後		1							兼 1
	倫理学Ⅰ	1 前		1							兼 1
	倫理学Ⅱ	1 後		1							兼 1
	経済学Ⅰ	1 前		1							兼 1
	経済学Ⅱ	1 後		1							兼 1
	法学Ⅰ	1 前		1							兼 1
	法学Ⅱ	1 後		1							兼 1
	哲学Ⅰ	1 前		1							兼 1
	哲学Ⅱ	1 後		1							兼 1
	英会話Ⅰ	1 前		1				1			
	英会話Ⅱ	1 後		1				1			
	中国語Ⅰ	1 前		1							兼 1
	中国語Ⅱ	1 後		1							兼 1
	フランス語Ⅰ	1 前		1							兼 1
	フランス語Ⅱ	1 後		1							兼 1
	心理学	1 前	1								兼 1
	情報処理演習Ⅰ	1 前	1								兼 1
	情報処理演習Ⅱ	1 後	1								兼 1
	基礎薬学英語Ⅰ	1 前	1					1			
	基礎薬学英語Ⅱ	1 後	1					1			
	薬学英語	2 前	1				1				兼 1 専任准教授1と兼担1のオムニ バスに変更 平成29年4月
	臨床薬学英語	4 前	1				1				
	基礎物理学	1 前	1								兼 2 兼担2でのオムニバスに変更 兼 4 平成29年4月
	基礎化学Ⅰ	1 前	1			2			4		兼 2 専任教授2と兼担2でのオムニ バスに変更 平成29年4月
	基礎化学Ⅱ	1 後	1			1	1		1		兼 1 専任教授1と専任准教授1、専 任講師1及び兼担1でのオムニ バスに変更 平成29年4月
	基礎生物学	1 後	1						1		兼 3 専任講師1、兼3でのオムニバス 兼 4 に変更 平成29年4月
	基礎数学Ⅰ	1 前	1								兼 1
	基礎数学Ⅱ	1 後	1								兼 1
	基礎統計学	2 前 前	1								兼 1
	文章表現論	1 後	1								兼 1 兼任教員の都合により開講時期 を前期に変更 平成28年4月
	プレゼンテーション論	2 前	1								兼 2 兼任2、兼担1のオムニバスに変更 兼 4 平成29年4月
	コミュニケーション論	1 後 前	1								兼 2 兼任講師の都合により開講時期 を後期に変更 平成28年4月
	薬学への招待	1 前	0.5								兼 1
専 門 教 育 科 目	基 本 事 項	医療概論	1 通	1.5		4	1				専任教授辞任により担当者変更 平成29年4月
		生命・医療倫理学	1 後	1							兼 1
		医療コミュニケーション学	2 前	1							兼 1
		薬事関係法規・制度	4 前	1.5			1				
		ポスト教育	5～6	1.5		2	1				兼 5 兼担教員辞任により担当者変更 兼 7 平成29年4月

専門教育科目	薬学基礎（物理分析系）	理論化学	1 後	1.5				1			兼 1 新規採用専任教員に担当者変更 平成29年4月
		物理化学Ⅰ	2 前	1.5							兼 1
		物理化学Ⅱ	2 後	1.5							兼 1
		物理化学Ⅲ	3 前	1.5							兼 1
		放射化学	2 後	1.5			1				兼 1 担当者辞任により専任教授1、 兼0に変更 平成28年4月
		分析化学Ⅰ	2 前	1.5			1		1		専任教授辞任のため担当者変更 平成29年4月
		分析化学Ⅱ	2 後	1.5			1		1		専任教授辞任のため担当者変更 平成29年4月
		分析化学Ⅲ	3 前	1.5			1				
		分析化学Ⅳ	3 後	1.5			1				
	薬学基礎（化学・生薬系）	有機化学Ⅰ	1 前	1							兼 1
		有機化学Ⅱ	1 後	1							兼 1
		有機化学Ⅲ	2 前	1							兼 1
		有機化学Ⅳ	2 後	1							兼 1
		有機化学Ⅴ	3 前	1							兼 1
		有機化学Ⅵ	3 後	1							兼 1
		無機化学	2 前	1							兼 1
		医薬品化学Ⅰ	3 後	1.5							兼 1
		医薬品化学Ⅱ	4 前	1.5							兼 1
		薬用資源学	1 前	1.5				1			
		生薬学	2 後	1.5			1				担当者辞任により専任教授0、専任 准教授1に変更 平成28年4月
		天然物化学	3 後	1.5			1				
	薬学基礎（生物系）	機能形態学Ⅰ	1 後	1.5							兼 1
		機能形態学Ⅱ	2 前	1.5							兼 1
		生命科学Ⅰ	2 前	1.5							兼 2 兼2のオムニバスに担当者変更 平成29年4月
		生命科学Ⅱ	2 後	1.5							兼 2 兼2のオムニバスに担当者変更 平成29年4月
		生命科学Ⅲ	3 前	1.5							兼 1
		生命科学Ⅳ	3 後	1.5							兼 1
		微生物学Ⅰ	2 前	1.5							兼 1
		微生物学Ⅱ	2 後	1.5				1			
		免疫学	3 前	1.5							兼 1
	衛生薬学	環境衛生学Ⅰ	2 後	1.5					1		兼 1 新任教員採用により専任助教0、 兼1に変更 平成28年4月
		環境衛生学Ⅱ	3 前	1.5			1			1	新任教員採用により専任教授1、 専任助教0に変更 平成28年4月
		食品衛生学Ⅰ	3 前	1.5							兼 1
		食品衛生学Ⅱ	3 後	1.5							兼 1
		公衆衛生学	3 後	1.5							兼 1
	基礎医療系	薬理学Ⅰ	2 前	1.5			1	1			担当教員昇格 平成29年4月
		薬理学Ⅱ	2 後	1.5			1	1			担当教員昇格 平成29年4月
		薬理学Ⅲ	3 前	1.5							兼 1
		薬理学Ⅳ	3 後	1.5							兼 1
	医療薬学（臨床）	病態薬物治療学Ⅰ	2 後	1.5							兼 1
		病態薬物治療学Ⅱ	3 前	1.5			1				
		病態薬物治療学Ⅲ	3 前	1.5							兼 1
		病態薬物治療学Ⅳ	3 後	1.5							兼 1
		病態薬物治療学Ⅴ	4 前	1.5							兼 1
		感染症治療学	3 後	1.5			1				
		がん化学療法学	4 前	1.5							兼 1
		臨床薬物動態学	4 前	1							兼 1
		漢方治療論	4 前	1.5				1			

専門教育科目	医療薬学 (臨床)	医療統計学	2 後	1.5							兼 1
		医薬品情報学	4 前	1							兼 1
		薬物動態学Ⅰ	3 後	1.5							兼 1
		薬物動態学Ⅱ	4 前	1.5		1					
		早期臨床体験	1～2	1.5			1				兼 1 専任准教授1と兼担1でのオムニバスに変更 平成29年4月
		調剤学	3 後	1.5							兼 1
		事前学習	4 通	4		2	1				兼 5 ※実習 専任教授2、専任准教授1、兼担5に担当者を変更
		実務実習Ⅰ	4～5	10		9 8	5	3 2	2		専任准教授9、専任准教授5、専任講師3に変更 平成29年4月
		実務実習Ⅱ	4～5	10		9 8	5	3 2	3		兼 1 専任教授9、専任准教授5、専任講師3、兼1に変更 平成29年4月
	薬剤・製剤系	物理薬剤学	3 前	1.5							兼 1
		製剤学Ⅰ	3 前	1.5							兼 1
		製剤学Ⅱ	3 後	1							兼 1
	薬学研究	卒業研究	4～6	10		3					
	アドバンス ト科目	デュケイン大学講師特別講義	1		0.5						兼 1
		本草学	1 前	1		1					
		漢方・民間薬概論	1 後	1		1					
		漢方薬理学	2 前	1		1					
		漢方薬効免疫学	2 後	1		1		1			担当教員の変更 平成29年4月
		漢方製剤・薬剤学	3 前	1				1			
		漢方処方学	5 後	1		1					
		臨床漢方治療学	6 前	1							兼 1
		薬学特別講義Ⅰ	4 前	2		4	2		1		兼 11 オムニバス 担当者辞任により 兼 43 専任助教1、兼11に変更 平成29年4月
		薬学特別講義Ⅱ	4 前	2		3 2	1				兼 9 オムニバス 専任教授3、兼担9 兼 14 に担当者変更 平成29年4月
		薬学特別講義Ⅲ	4 前	2		3 2	1		1		兼 5 オムニバス 専任教授3、専任 兼 6 准教授1、専任助教1、 兼5に変更 平成29年4月
		診療科別治療論	5 後	1.5							兼 10 オムニバス
		処方解析学	6 前		1						兼 1
		医薬品開発論	6 前		1						兼 1
		地域薬局論	6 前		1						兼 1
		臨床物理分析法	6 前		1	1					兼 1 専任教授に担当者変更 平成29年4月
		ターミナルケア論	6 前		1						兼 1
		疾患治療特論	6 前		1				1		兼 10 オムニバス 担当者辞任により 兼 9 専任助教0、兼10に変更 平成28年4月
		救急医療概論	6 前		1						兼 10 オムニバス
		健康管理学	6 前		1			1	1		担当教員の昇格 平成29年4月
		総合薬学特別講義Ⅰ	6 前	1		1 2	2 1				オムニバス 専任教授1、専任 兼 5 准教授2、兼5に変更 平成29年 4月
		総合薬学特別講義Ⅱ	6 前	1		2 3	1				兼 2 オムニバス 専任教授2、専任准 兼 3 教授1、兼2に変更 平成28年4月
		総合薬学特別講義Ⅲ	6 前	1			1				兼 6 オムニバス
		総合薬学特別講義Ⅳ	6 前	1		1	1		1		兼 3 オムニバス 担当者辞任により 兼 2 専任教授1、専任助教0、 兼3に変更 平成28年4月
		総合薬学特別講義Ⅴ	6 前	1.5		2 1	1 1				兼 4 オムニバス 専任教授2、兼担4で のオムニバスに変更 平成29年4月
		総合薬学特別講義Ⅵ	6 前	1							兼 5 オムニバス
		総合薬学特別講義Ⅶ	6 前	1.5		3	1				兼 2 オムニバス 専任教授3、専任准 兼 4 教授1、兼担2でのオムニバスに変更 平成29年4月

専門教育科目	実習科目	病院薬学実習	5～6		6		1					兼 1 オムニバス ※演習
		薬局薬学実習	5～6		6							兼 2 オムニバス ※演習
		伝統医療薬学実習	5～6		6		1	1				オムニバス ※演習 担当者辞任により専任教授1、専任准教授1に変更 平成28年4月
		海外医療研修	5～6		6			2		1		オムニバス ※演習
		学内研修	5～6		6		1					兼 1 オムニバス ※演習
		基礎実習	2 前	1			3	4	3	1		兼 6 専任教授3、専任准教授4、 兼 5 専任講師3、専任助教1、兼6に変更 平成29年4月
		化学系実習	2 後	1			1	1	1	1		兼 3 担当者辞任により専任教授1、 兼 4 専任准教授3、専任講師1、専任助教1、兼3に変更 平成29年4月
		物理系実習	2 後	1			1	1	1	1		兼 2 専任教授1、専任准教授1、専任講師 兼 3 1、兼2に変更 平成29年4月
		生物系実習	3 前	1				1				兼 5
		衛生薬学実習	3 前	1						1		兼 2
		薬理学実習	3 後	1			1	1				兼 5 専任教授1、兼5に変更 平成29年4月
		薬剤学実習	4 前	1			1		1			兼 3
	演習科目	有機化学演習	2 後	1			2		1			兼 2 専任教授2、専任講師1、兼2の 兼 4 オムニバスに変更 平成29年4月
		物理系演習	3 前	1			1					
		構造解析演習	3 後	1			1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
112	32	0	144	112	32	0	114	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	17,474 m ² 18,267 m ²	0 m ²	0 m ²	17,474 m ² 18,267 m ²			
	運動場用地	35,354 m ² 33,822 m ²	0 m ²	0 m ²	35,354 m ² 33,822 m ²			
	小 計	52,828 m ² 52,089 m ²	0 m ²	0 m ²	52,828 m ² 52,089 m ²			
	そ の 他	3,383 m ² 4,122 m ²	0 m ²	0 m ²	3,383 m ² 4,122 m ²			
	合 計	56,211 m ²	0 m ²	0 m ²	56,211 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	18,783 m ² (18,783 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	18,783 m ² (18,783 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	1 室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	漢方薬学科			22 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		漢方薬学科	93,293 [34,756] (93,293 [34,639])	1,050 [434] (1,050 [434])	3,258 [2,056] (3,209 [2,070])	719 (719)	11 (11)	0 (0)
		計	93,293 [34,756] (93,293 [34,639])	1,050 [434] (1,050 [434])	3,258 [2,056] (3,209 [2,070])	719 (719)	11 (11)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,233m ²		260席		105,722冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	2,670m ²		—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	800千円	800千円	図書購入費	500千円	500千円	250千円
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		第 一 薬 科 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
薬学部 薬学科 漢方薬学科	年	人	年次 人	人		倍				
	6	113		678	学士 (薬学)	1.03	18年度	福岡県福岡市南区玉川町22-1		
	6	60		360	学士 (薬学)	0.71	28年度	同上		
大学 の 名 称		日 本 薬 科 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
薬学部 薬学科 医療ビジネス薬科学科	年	人	年次 人	人		倍				
	6	260		1,560	学士 (薬学)	1.08	23年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281		
	4	90		360	学士 (医療ビ ジネス薬科 学)	0.98	23年度	東京都文京区湯島3-15-1		
大学 の 名 称		神 戸 医 療 福 祉 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地		
社会福祉学科 健康スポーツ コミュニケーション学科 経営福祉ビジネス学科	年	人	年次 人	人		倍				
	4	170	人	680	学士 (社会福祉 学)	0.49	25年度	兵庫県神戸郡福崎町高岡1966-5		
	4	100		400	学士 (健康福祉 学)	0.94	23年度	兵庫県神戸郡福崎町高岡1966-6		
	4	130		520	学士 (社会福祉 学)	1.18	21年度	大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-1-3		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学部 漢方薬学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	樋口 隆一 (70)	平成29年4月	生薬学 総合薬学特別講義Ⅰ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 伝統医療薬学実習	専	准教授	森永 紀 (43)	平成29年4月	基礎実習 生薬学 総合薬学特別講義Ⅰ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 伝統医療薬学実習	(教員審査省略) 平成28年3月樋口教授辞任の ため平成29年4月より担当者の 変更・新規採用(28)
実専	教授	岡野 善郎 (68)	平成28年4月	漢方薬理学 医療概論 ポスト教育 事前学習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	専	教授	飯塚 晃 (64)	平成29年4月	漢方薬理学	(教員審査省略) 平成29年3月岡野教授辞任の為、 平成29年4月より担当者の変更 (29)
					実専	准教授	大光 正男 (47)	平成29年4月	医療概論	(教員審査省略) 平成29年3月岡野教授辞任の為、 平成29年4月より担当者の変更 (29)
					実専	教授	松山 賢治 (67)	平成29年4月	ポスト教育 事前学習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	(教員審査省略) 平成29年3月岡野教授辞任の為、 平成29年4月より新規採用(29)
専	教授	池谷 幸信 (68)	平成30年4月	天然物化学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ						
専	教授	福田 直通 (64)	平成28年4月	本草学 化学系実習 卒業研究 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ 伝統医療薬学実習	専	教授	福田 直通 (66)	平成28年4月	本草学 卒業研究 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ 伝統医療薬学実習	担当科目の変更
					実専	准教授	城戸 克己 (52)	平成29年4月	化学系実習	(教員審査省略) 担当者変更(29)
					専	准教授	森永 紀 (43)	平成29年4月	化学系実習	(教員審査省略) 担当者変更(29)
実専	教授	下園 拓郎 (68)	平成31年4月	ポスト教育 事前学習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ 病院薬学実習						
専	教授	原口 浩一 (64)	平成29年4月	基礎実習 物理系実習 物理系演習 分析化学Ⅲ 構造解析演習 卒業研究 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ						
実専	教授	大山 良治 (66)	平成31年4月	薬剤学実習 薬物動態学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅶ						
専	教授	飯塚 晃 (63)	平成28年4月	漢方・民間薬概論 漢方薬効免疫学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ	専	教授	飯塚 晃 (64)	平成28年4月	漢方・民間薬概論 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ	担当科目の変更
					実専	准教授	城戸 克己 (52)	平成29年4月	漢方薬効免疫学	(教員審査省略) 担当者変更(29)
専	教授	新井 一郎 (63)	平成31年4月	漢方処方学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ						
専	教授	長島 史裕 (56)	平成30年4月	分析化学Ⅳ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ 学内研修	専	教授	長島 史裕 (55)	平成29年4月	有機化学演習 基礎実習 分析化学Ⅳ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ 学内研修	担当科目の変更
専	教授	小山 進 (53)	平成30年4月	病態薬物治療学Ⅱ 感染症治療学 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ						

専	教授	黒木 廣明 (68)	平成29年4月	物理系実習 分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 卒業研究 総合薬学特別講義Ⅱ	専 講師	藤井 由希子 (35)	平成29年4月	分析化学Ⅰ	(教員審査省略) 黒木教授平成29年3月辞任のため 平成29年4月より担当者変更・担 当者昇格(29)
					専 准教授	横山 さゆり (54)	平成29年4月	分析化学Ⅱ	(教員審査省略) 黒木教授平成29年3月辞任のため 平成29年4月より担当者変更(29)
					専 准教授	中原 広道 (37)	平成29年4月	物理系実習 卒業研究 総合薬学特別講義Ⅱ	(教員審査省略) 黒木教授平成29年3月辞任のため 平成29年4月より担当者変更・新 規採用(29)
専	准教授	横山 さゆり (54)	平成29年4月	化学系実習 薬学英語 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ	兼任 教授	森内 宏志 (55)	平成29年4月	薬学英語	(教員審査省略) 担当者変更(29)
					専 准教授	小川 和加野 (47)	平成29年4月	薬学英語	(教員審査省略) 担当者変更(29)
					専 准教授	横山 さゆり (54)	平成29年4月	基礎実習 化学系実習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ	担当者変更・担当科目の変更
実専	准教授	城戸 克己 (51)	平成28年4月	薬用資源学 漢方治療論 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅶ 海外医療研修	専 准教授	森永 紀 (43)	平成28年4月	薬用資源学	(教員審査省略) 担当者の変更新規採用・前出(28)
					実専 准教授	城戸 克己 (52)	平成29年4月	漢方治療論 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅶ 海外医療研修	担当科目の変更
専	准教授	小川 和加野 (47)	平成29年4月	生物系実習 微生物学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	専 准教授	小川 和加野 (47)	平成29年4月	基礎実習 薬学英語 生物系実習 微生物学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	担当科目の変更
専	准教授	小松 生明 (48)	平成29年4月	薬理学実習 薬理学Ⅰ 薬理学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	専 教授	小松 生明 (48)	平成29年4月	薬理学実習 薬理学Ⅰ 薬理学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	平成29年4月に昇格
実専	准教授	大光 正男 (49)	平成31年4月	臨床薬学英語 薬事関係法規・制度 ポスト教育 事前学習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ 海外医療研修					
専	講師	栗田 厚司 (65)	平成28年4月	基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ	兼任 准教授	白谷 智宣 (49)	平成29年4月	基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年3月辞任のため 担当者変更(29)
					兼任 教授	増田 寿伸 (62)	平成29年4月	基礎化学Ⅰ	(教員審査省略) 平成29年3月辞任のため 担当者変更(29)
					専 教授	長島 史裕 (55)	平成29年4月	基礎化学Ⅰ	(教員審査省略) 平成29年3月辞任のため 担当者変更(29)
					専 准教授	横山 さゆり (54)	平成29年4月	基礎化学Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年3月辞任のため 担当者変更(29)
					専 講師	藤井 由希子 (35)	平成29年4月	基礎化学Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年3月辞任のため 担当者変更(29)
					専 教授	門口 泰也 (51)	平成29年4月	基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年3月辞任のため担当者の変 更・平成29年4月に新規採用(29)
専	講師	エップ・デ ニース (46)	平成28年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 薬学基礎英語Ⅰ 薬学基礎英語Ⅱ					
専	講師	古賀 和隆 (45)	平成29年4月	基礎実習 化学系実習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ	専 講師	古賀 和隆 (45)	平成29年4月	有機化学演習 基礎実習 化学系実習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ	担当科目の変更
専	講師	香川 正太 (38)	平成29年4月	基礎実習 薬剤学実習 漢方製剤・薬剤学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ					
専	助教	藤井 由希子 (35)	平成29年4月	基礎実習 物理系実習 健康管理学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ	専 講師	藤井 由希子 (35)	平成29年4月	基礎実習 物理系実習 健康管理学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ	担当科目の変更 平成29年4月に昇格

専	助教	古賀 貴之 (32)	平成29年4月	基礎実習 衛生薬学実習 環境衛生学Ⅰ 環境衛生学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ 海外医療研修	兼担 准教授	安川 圭司 (40)	平成29年4月	基礎実習	(教員審査省略) 担当者変更 (29)
					専 助教	古賀 貴之 (32)	平成29年4月	衛生薬学実習 海外医療研修	担当科目の変更
					専 教授	渡辺 和人 (66)	平成30年4月	環境衛生学Ⅱ 実務実習Ⅰ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ	(教員審査省略) 担当者の変更・新規採用 (30)
					兼担 准教授	副田 二三夫 (44)	平成29年4月	環境衛生学Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ	(教員審査省略) 担当者の変更・新規採用 (29)
専	助教	飯田 浩子 (47)	平成31年4月	疾患治療特論 実務実習Ⅱ	専 教授	渡辺 和人 (66)	平成30年4月	疾患治療特論 実務実習Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年3月飯田助教辞任のため 平成28年4月新規採用した渡辺教授に 担当者を変更 (28)
兼担	教授	小川 建志 (70)	平成29年4月	物理系実習 薬局薬学実習	兼担 准教授	副田 二三夫 (44)	平成29年4月	薬局薬学実習	(教員審査省略) 平成28年3月小川教授辞任のため 平成28年4月新規採用した副田准 教授に担当者を変更・担当科目の変 更 (28)
兼担	教授	坂戸 達和 (69)	平成28年4月	倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	兼任 講師	渡部 和隆 (28)	平成28年4月	倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年3月坂戸教授辞任の ため平成28年4月より担当者の 変更 (28)
兼担	教授	前田 稔 (70)	平成29年4月	放射化学 臨床物理分析法 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ	専 教授	原口 浩一 (64)	平成29年4月	放射化学	(教員審査省略) 平成28年3月前田教授辞任の ため平成29年4月より担当者の 変更 (29)
					専 教授	長島 史裕 (55)	平成30年4月	臨床物理分析法 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年3月前田教授辞任の ため平成30年4月より担当者の 変更 (30)
兼担	教授	前田 共秀 (71)	平成31年4月	ポスト教育 事前学習	兼担 教授	窪田 敏夫 (45)	平成29年4月	ポスト教育 事前学習	(教員審査省略) 前田教授平成29年3月辞任の為、 平成29年4月新規採用 (29)
兼担	教授	長 普子 (67)	平成29年4月	化学系実習 医薬品化学Ⅰ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	兼担 教授	長 普子 (67)	平成29年4月	医薬品化学Ⅰ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	担当科目の変更
					専 教授	門口 泰也 (51)	平成29年4月	化学系実習	(教員審査省略) 担当者の変更・新規採用 (29) 前 出
兼担	教授 (薬学系)	櫻田 司 (66)	平成28年4月	薬学への招待 薬理学実習 薬理学Ⅲ 薬理学Ⅳ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	兼担 教授	櫻田 司 (67)	平成28年4月	薬学への招待	担当科目の変更
					兼担 教授	有竹 浩介 (51)	平成30年4月	薬理学実習 薬理学Ⅲ 薬理学Ⅳ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	(教員審査省略) 担当者の変更 平成29年4月新規採用 (30)
兼担	教授	下川 修 (66)	平成29年4月	生物系実習 微生物学Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	兼担 教授	松原 大 (57)	平成29年4月	微生物学Ⅰ	(教員審査省略) 担当者変更 (29)
					兼担 教授	下川 修 (66)	平成30年4月	生物系実習 総合薬学特別講義Ⅲ	担当科目の変更
兼担	教授	森山 峰博 (67)	平成30年4月	病態薬物治療学Ⅲ がん化学療法 薬理学実習 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ					
兼担	教授	山元 完二 (64)	平成28年4月	基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 基礎統計学	兼担 助教	井上 寛 (34)	平成29年4月	基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 基礎統計学	(教員審査省略) 平成28年3月山元教授辞任 のため平成29年4月より 担当者の変更・平成29年に新規 採用 (29)
兼担	教授	三嶋 基弘 (65)	平成30年4月	薬物動態学Ⅰ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅵ					
兼担	教授 (薬学系)	荒牧 弘範 (63)	平成30年4月	生物系実習 生命科学Ⅲ 生命科学Ⅳ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ					
兼担	教授	増田 寿伸 (62)	平成29年4月	化学系実習 有機化学Ⅳ 有機化学Ⅴ 有機化学Ⅵ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ 学内研修	兼担 教授	増田 寿伸 (62)	平成29年4月	基礎実習 化学系実習 有機化学実習 有機化学Ⅳ 有機化学Ⅴ 有機化学Ⅵ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ 学内研修	担当科目の変更
兼担	教授	川久保 弘 (64)	平成31年4月	医薬品化学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ					
兼担	教授	戸田 晶久 (62)	平成30年4月	衛生薬学実習 食品衛生学Ⅰ 食品衛生学Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ					

兼担	教授	村山 恵子 (61)	平成30年4月	薬科学実習 製剤学Ⅰ 製剤学Ⅱ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅵ						
兼担	教授	入倉 充 (59)	平成30年4月	薬科学実習 臨床薬物動態学 ポスト教育 事前学習 物理薬剤学 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅵ 薬局薬学実習						
兼担	教授	松原 大 (58)	平成30年4月	生物系実習 免疫学 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ						
兼担	教授	吉武 毅人 (53)	平成30年4月	病態薬物治療学Ⅳ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ 病院薬学実習						
兼担	准教授	安藤 伸一郎 (68)	平成31年4月	処方解析学 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	兼担	教授	有森 和彦 (65)	平成31年4月	処方解析学 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	(教員審査省略) 安藤准教授平成29年3月辞任の為 担当者変更・新規採用 (30)
兼担	准教授	飯盛 恵美子 (65)	平成31年4月	ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ			後任未定			飯盛准教授平成29年3月辞任の為 後任新規採用予定
兼担	准教授	白谷 智宣 (48)	平成28年4月	化学系実習 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 有機化学演習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	専	教授	門口 泰也 (51)	平成29年4月	有機化学演習	(教員審査省略) オムニバス担当者の追加 (29)
					兼担	准教授	白谷 智宣 (49)	平成29年3月	基礎実習 化学系実習 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 有機化学演習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	担当科目の変更
兼担	准教授	田畠 健治 (46)	平成29年4月	物理系実習 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 無機化学 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ	兼担	准教授	安川 圭司 (40)	平成29年3月	無機化学	(教員審査省略) 担当者の変更 (28)
					兼担	准教授	田畠 健治 (46)	平成29年3月	物理系実習 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ	担当科目の変更
兼担	准教授	大脇 裕一 (42)	平成28年4月	早期臨床体験 医薬品情報学 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	実専	准教授	大光 正男 (47)	平成29年4月	早期臨床体験	(教員審査省略) 担当者の変更 (28)
					兼担	講師	香月 正明 (39)	平成29年4月	早期臨床体験	(教員審査省略) 担当者の変更 (28)
					兼担	教授	窪田 敏夫 (45)	平成29年4月	医薬品情報学	(教員審査省略) 担当者の変更 (28)
							後任未定			平成29年3月辞任のため、 後任採用予定
兼担	准教授	廣村 信 (44)	平成29年4月	衛生薬学実習 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	兼任	教授	都築 稔 (42)	平成29年4月	生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ	(教員審査省略) 担当者の変更 (29)
					兼担	准教授	廣村 信 (44)	平成29年4月	基礎実習 衛生薬学実習 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	担当科目の変更 (29)
兼担	准教授	安川 圭司 (40)	平成29年4月	物理系実習 物理化学Ⅲ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ						

兼任	講師	井上 裕一 (66)	平成28年4月	基礎生物学	兼任	教授	都築 稔 (42)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28～29年度のみ
					専	講師	香川 正太 (38)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) オムニバス・平成28～29年度のみ
					兼任	講師	清水 典史 (42)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) オムニバス・平成28～29年度のみ
					兼任	助教	濱村 賢吾 (29)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) オムニバス・平成28～29年度のみ
							後任未定			「後任未定」専任教員採用を計画
兼任	講師	清水 典史 (41)	平成28年4月	薬理学実習 機能形態学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ						
兼任	講師	香月 正明 (40)	平成30年4月	調剤学 薬理学実習 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅵ 総合薬学特別講義Ⅶ						
兼任	講師	小武家 優子 (47)	平成30年4月	公衆衛生学 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ						
兼任	助教	古賀 多津子 (55)	平成31年4月	ポスト教育 事前学習						
兼任	助教	山元 誉子 (35)	平成29年4月	病態薬物治療学Ⅴ 基礎実習 薬理学実習 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	兼任	教授	森内 宏志 (55)	平成30年4月	病態薬物治療学Ⅴ 薬理学実習 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	(教員審査省略) 平成28年3月山元助教辞任のため平成30年4月より担当者の変更・新規採用(30)
					専	教授	門口 泰也 (51)	平成29年4月	基礎実習	(教員審査省略) 担当者の変更新規採用(29)前出
兼任	助教	鍛野 哲 (34)	平成29年4月	化学系実習 基礎実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	専	助教	小川 鶴洋 (29)	平成29年4月	化学系実習 基礎実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	(教員審査省略) 平成28年3月鍛野助教辞任のため平成29年4月より担当者の変更・新規採用(28)
兼任	助教	高森 恵理子 (32)	平成29年4月	基礎実習 生物系実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	兼任	准教授	田島 健治 (46)	平成29年4月	基礎実習	(教員審査省略) 担当科目の変更(29)
					兼任	助教	高露 恵理子 (32)	平成30年4月	生物系実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ	担当科目の変更
兼任	助教	岡崎 裕之 (30)	平成29年4月	基礎実習 生物系実習 医療統計学 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅵ	兼任	助教	岡崎 裕之 (30)	平成30年4月	生物系実習 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅵ	担当科目の変更
					兼任	講師	清水 典史 (42)	平成29年4月	基礎実習	(教員審査省略) 担当科目の変更(29)
					兼任	教授	窪田 敏夫 (45)	平成29年4月	医療統計学	(教員審査省略) 新規採用(29)前出
兼任	助教	濱村 賢吾 (29)	平成29年4月	基礎実習 薬理学実習						
兼任	教授	重松 恵子 (64)	平成28年4月	文学Ⅰ 文学Ⅱ 文章表現論 コミュニケーション論	兼任	教授	吉川 三恵子 (67)	平成28年4月	文学Ⅰ 文学Ⅱ	(教員審査省略) 担当者の変更(28)
					兼任	教授	深山 孝文 (66)	平成28年4月	文章表現論	(教員審査省略) 担当者の変更(28)
					兼任	講師	服部 文香 (28)	平成28年4月	コミュニケーション論	(教員審査省略) 担当者の変更(28)
兼任	教授	國府 新助 (65)	平成28年4月	法学Ⅰ 法学Ⅱ						
兼任	教授	任 春江 (60)	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	教授	松田 茂 (70)	平成33年4月	医薬品開発論						
兼任	教授	都嶋 かおる (67)	平成28年4月	福祉学Ⅰ 福祉学Ⅱ						

兼任	准教授	白木原 康雄 (66)	平成28年4月	基礎物理学 理論化学	兼任	准教授	安川 圭司 (40)	平成29年4月	基礎物理学	(教員審査省略) 担当者変更(28) オムニバス
					兼任	准教授	田島 健治 (46)	平成29年4月	基礎物理学	(教員審査省略) 担当者変更(28) オムニバス
					専任	准教授	中原 広道 (37)	平成29年4月	理論化学	(教員審査省略) 担当者の変更新規採用(29)前出
兼任	准教授	田中 真理 (61)	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	准教授	井上 久美子 (63)	平成28年4月	生命・医療倫理学						
兼任	講師	藤岡 豊三雄 (57)	平成28年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ						
兼任	講師	月岡 寛子 (28)	平成28年4月	心理学 コミュニケーション論	兼任	講師	藤元 慎太郎 (27)	平成28年4月	心理学	(教員審査省略) 担当者の変更(28)
					兼任	講師	芦刈 綾香 (39)	平成28年4月	コミュニケーション論	(教員審査省略) 担当者の変更(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
第一薬科大学	16 名	8 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

大学名	設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
第一薬科大学	12	5	4	3	24	6	6	4	1	17	13	6	4	2	25
	(3)	(1)	(2)	(0)	(6)						[1]	[1]	[0]	[△1]	[1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
第一薬科大学	教授 65 その他 60 歳	2 名	9 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	教授	樋口 隆一	必修		生薬学	①	病気のため就任辞退 (28)							
			必修		総合薬学特別講義Ⅰ	①								
			必修		実務実習Ⅰ	①								
			必修		実務実習Ⅱ	①								
			選択		伝統医療薬学実習	①								
2	助教	飯田 浩子	選択		疾患治療特論	②	一身上の都合のため就任辞退 (28)							
			必修		実務実習Ⅱ	③								
3	教授	黒木 廣明	必修		物理系実習	①	一身上の都合のため就任辞退 (28)							
			必修		分析化学Ⅰ	①								
			必修		分析化学Ⅱ	①								
			必修		卒業研究	①								
			必修		総合薬学特別講義Ⅱ	①								
合 計 (A)						後任補充状況の集計 (B)								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
3	人		必修	10	科目	必修	9	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
			選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	12	科目	計	10	科目	計	2	科目	計	0	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

・ 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	岡野 善郎	必修		漢方薬理学	①	一身上の都合のため就任辞退 (29)							
			必修		医療概論	①								
			必修		ポスト教育	①								
			必修		事前学習	①								
			必修		実務実習Ⅰ	①								
			必修		実務実習Ⅱ	①								
			必修		薬学特別講義Ⅲ	①								
			必修		総合薬学特別講義Ⅶ	①								
2	講師	栗田 厚司	必修		基礎化学Ⅰ	①	一身上の都合のため就任辞退 (28)							
			必修		基礎化学Ⅱ	①								
合 計 (C)						後任補充状況の集計 (D)								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
2	人		必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
5	人	必修	20 科目	必修	19 科目	必修	1 科目	必修	0 科目		
		選択	2 科目	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	22 科目	計	20 科目	計	2 科目	計	0 科目		

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(3)－① 専任教員の就任辞退(未就任)については、やむを得ない状況であると判断し、すみやかに後任補充に対処した。
また、学生への周知については、年度初めのガイダンス時に後任の教員を周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年 9 月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 神戸医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員については、平成27年度に5名が退職した。また、平成28年4月に50歳以下の選任教員を4名採用した。今後も、年齢構成に配慮した教員採用人事を実施する。 (平成28年度) 平成28年度入試から入学定員見直しを行い、社会福祉学科の定員200名を170名に変更することを検討している。 (平成28年度)
設置計画履行状況 調 査 時 (29年 2 月)	薬学部漢方薬学科（6年制）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 薬学部漢方薬学科（6年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	平成29年度入学生は49名であり、定員充足率は0.8倍へと改善した。 引き続き学生募集に注力し、入学定員の充足に努める。 定年規程に定める退職年齢を超える専任教員については、平成28年度に7名が退職した。また、平成29年4月に50歳以下の選任教員を4名採用した。今後も、年齢構成に配慮した教員採用人事を実施する。 (平成29年度)

設置計画履行状況調査 (29年2月)	同一設置者が設置する既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	学生確保については、魅力ある学科へ改善が必要と考え、学生募集を通して得たステークホルダーの情報をもとに、平成29年度より学科の教育システムの改善を行ないました。具体的には学科内のコースを撤廃することで、横断的な資格や科目の選択が可能になり学びが多様化されました。また高等学校との連携を強化して学生確保につなげるために高大連携協定書を結ぶ方針を打ち出しました。昨年11月には、地元の福崎高等学校を第1号に、現在4つの高校との協定を結んでおり、更に増やすために現在段階的に取り組んでいます。福崎高校とは、地元の生徒・学生を協働で育て、地元就職・貢献していく人材を育てるという“地域循環”をコンセプトにした高大連携プロジェクトを推進しています。地元福崎町の特産のもち麦や柳田國男先生の民俗学（妖怪）など町興しを推し進め、地方創生の観点から自治体との連携を強化し、特色を活かした中長期的計画を推進しております。また、社会情勢や社会福祉分野のニーズを考慮して、一方では社会福祉学科の入学定員を200名から170名に変更（平成29年度）するなどして定員充足率の拡充に努めています。	
-------------------------------	---	-------------	---	--

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<薬学部 漢方薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
漢方薬学科	漢方薬学科 変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 第一薬科大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を設置している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として月1回開催している。 c 委員会の審議事項等 ・ FDに関する研修会及び講習会に関する事項 ・ 「学生授業評価アンケート」に関する事項 ・ 「教員相互授業参観」に関する事項 ・ 「教員による自己評価」に関する事項 ・ 「学生と教職員懇談」に関する事項 c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 ・ FD委員会主催講習会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 ・ 学生と教職員懇談会の開催 b 実施方法 ・ 学内及び外部講師によるFD委員会主催講習会の開催している。 ・ 前期及び後期に教員相互の授業参観を実施している。 ・ 前期及び後期における「学生授業評価アンケート」を実施している。 ・ 前期及び後期に「学生と教職員懇談会」を実施している。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 学年始めに新任教員対象研修を行う。また、平成28年度では9月・10月に外部講師を招いて講習会を開催した。 ・ 「学生授業評価アンケート」は前期及び後期の2回、授業終了時を利用し全科目において実施している。 ・ 教員相互の授業参観は前期及び後期に実施期間を決め実施している。 ・ 「学生と教職員懇談会」は、あらかじめ大学に対する意見を聴取したことにに対し回答する形で実施した。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 「学生授業評価アンケート」及び「教員相互授業参観」の結果は、担当教員にフィードバックするとともに、「FD報告書」として全教職員に周知している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 原則として、前期・後期それぞれ期末に実施している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 調査結果を各教員に通知している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年度に3つのポリシーの見直しを行なった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年6月30日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年8月31日)